

H29.5.22《兵庫支部》 「保育の楽しさ」再発見！

講師：河邊 貴子先生（聖心女子大学教授）

演題：「幼児に必要な経験とは何か」

平成 29 年度の兵庫支部総会后、兵庫県下から集まった約 200 名の先生方と共に、河邊先生の講演に聞き入りました。生き生きと遊ぶ子どもたちの写真を通して、的確な子ども理解の大切さを痛感しました。

中でも、保育士の膝のぬくもりを感じながら、揺れやリズムの変化を楽しんでいる 1 歳児の表情から、子どもの楽しさに寄り添うことのできる、大人の柔らかな感性が大切であることを学びました。また、3 歳児が消防ごっこを楽しむ写真を通して、3 歳児の遊び心をくすぐる教師の環境構成や援助について考えさせられました。

群れて遊んだり、近所の大人との関係がもちにくい社会の中で、保育所・幼稚園の役割の大きさも改めて感じました。



河邊先生からは、子どもの育ちを写真も含めた記録を通して保護者に返していく大切さや、効果についてもお話いただきました。数字では表しにくい乳幼児期の育ちや学びが、写真を通して、より具体的に伝わることを実感し、是非実践したいと思いました。

園運営・学級経営のヒントをたくさんいただき、熱心にメモを取る参加者の熱気に包まれ、あっという間に時間が過ぎました。

一貫して流れていた「楽しい！面白い！」が基盤の河邊先生のお話を通して、「保育をもっと楽しみたい！」と元気をいただきました。そして、様々な立場の先生方と学び合った貴重な研修会になりました。日々の保育実践に、今回の研修会での多くの学びを散りばめて、「楽しい！面白い！」保育を展開していきたいと思います。

《兵庫支部の会員が増えました！》

平成 28 年度から会員数が増え、平成 29 年度は 460 を超える会員数になりました。

全幼研のホームページや、今年度作成したチラシ等を見てくださった、認定こども園や保育所・大学関係の先生方の多くの入会があり、嬉しい限りです。立場が違うたくさんの皆様と一緒に学び合える全幼研のよさを、どんどん広めたいです。

そして、今後も充実した研修会・研究会の機会を提供できるように努力したいと思います。